

## 平成31年第4回筑紫野市教育委員会定例会

### ○日 時

平成31年2月28日（木）午後2時00分から午後3時28分

### ○場 所

筑紫野市役所 第9会議室

### ○出席委員（5名）

教 育 長	上 野 二三夫	教 育 委 員	近 本 明
教 育 委 員	潮 見 眞千子	教 育 委 員	田 代 邦 夫
教 育 委 員	西 村 幸 子		

### ○欠 席 委 員（0名）

### ○出席説明員（10名）

教 育 部 長	八 尋 清 和	教 育 政 策 課 長	森 敬
学 校 教 育 課 長	吉 開 和 子	学 校 給 食 課 長	倉 掛 伸 夫
生 涯 学 習 課 長	長 澤 龍 彦	文 化 財 課 長	宮 原 博 揮
文 化 ・ ス ポ ー ツ 振 興 課 長	大 久 保 泰 輔	指 導 主 事	河 野 隆 子
指 導 主 事	松 田 高 行	社 会 教 育 主 事	砥 綿 麻 衣

### ○出席事務局職員（1名）

教 育 政 策 課  
庶 務 担 当 係 長 葉 山 順 子

### ○議 事 日 程

1. 教育委員会会議録の承認について  
平成31年第1回筑紫野市教育委員会会議録（平成31年1月10日開催）  
平成31年第2回筑紫野市教育委員会会議録（平成31年1月31日開催）  
平成31年第3回筑紫野市教育委員会会議録（平成31年2月15日開催）
2. 教育長の報告について
3. 報告第1号 平成31年度学校給食費について
4. 報告第2号 平成31年度学校給食実施回数について
5. 議案第3号 平成30年度筑紫野市一般会計補正予算（第5号）教育費について
6. 議案第4号 平成31年度筑紫野市一般会計暫定予算教育費について
7. 議案第5号 平成31年度筑紫野市奨学資金貸与事業特別会計予算について
8. 部課長の報告について

## 9. その他

## 会議録

○教育長：ただいまから平成31年第4回筑紫野市教育委員会定例会を開会いたします。

では、議事日程の順序に従い会議を進めてまいります。なお、発言は議長の許可を得た後にお願いをいたします。

### 日程第1、教育委員会会議録の承認の件

平成31年1月10日開催の第1回筑紫野市教育委員会会議録、平成31年1月31日開催の第2回筑紫野市教育委員会会議録、平成31年2月15日開催の第3回筑紫野市教育委員会会議録について、この件について承認することに御異議はありませんでしょうか。

○（特になし）

○教育長：御異議なしと認めます。よって、本件について承認をされました。

### 日程第2、教育長の報告の件

・校長会について（所属職員の綱紀の厳正な保持と服務規律の確保、特別支援教育、通級指導教室の充実に向けた取り組みについて）

・管内教育長会について（平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等の調査結果、平成31年度福岡教育事務所の学校支援実施要領、体罰によらない指導の手引）

○西村教育委員：先ほどの報告の中で「体育の授業は楽しいですか」の項目が少しポイントが下がってきていることが残念です。2020年の東京オリンピック・パラリンピックのもとに体育授業を楽しんでいくというのもいいかと思います。どうしてもオリンピックがメインになってしまいますが、パラリンピックも楽しめるよということで、できれば小中学校で障害者スポーツの理解や体験——ブラインドサッカーやボッチャなどを授業の中でやってみると、ルールがわかる、やってみたことがあるとなり、パラリンピックの応援や障害者スポーツへの理解が子どものころから進むのではないかと思います。ぜひ2020年に楽しむため、来年度から少しずつ取り入れていただければ、2020年に間に合うと思いますので、体育の授業などを工夫していただきたいと思います。

○田代教育委員：先ほど体罰のお話がありましたが、先生方何十人という子どもを受け持って大変だろうと思います。私たちがたかだか2人、3人の子どもを育てるのにも、結構腹を立てたりしていろいろ荒っぽいこともしてきたと思います。今だったら訴えられるかもしれないこともしてきたと思います。余りに細かく決め過ぎるとかえってやりにくいのではないかと思います。大きく「こういう感じ」ぐらいのほうがよく、余り細かくすると、逆に「これはいいのかな」「これはいかんのかな」となりかねないです。

○潮見教育委員：私も同意見です。特に「認められる懲戒」というところの中でも、子どもが嫌と感じて、家に帰って保護者に訴えたりすると、また微妙に変わってくる部分が出てくるかと思っています。その辺、どう判断していくのかというところが、本当に難しい問題です。現場の先生はもっと大変と思います。

○西村教育委員：近本委員が、「みんながわかるようにすること」とよく言われるのですが、教員側だけにこういう決まりがいっぱいあっても、子ども、受ける側はわかりません。では、どうすればいいのかといたら、こういうルールを守らなかったら、例えば、宿題を忘れたら放課後残って宿題をしてもらいますとか、授業中に動き回るようなことがあったら教室の中で立ってもらったりしますと、まずわかりやすく説明することが必要だと思います。これを全て教員だけがわかっていて、受ける子どもたち、保護者のほうがわからないというのでは、感覚のずれが出てくると思います。

○近本教育委員：PTAというのが、またこれから先は大事な存在になると思います。叱ると怒るは別で、「怒る」というのは感情があって、「叱る」のほうは叱責です。学級保護者会の中で、事前に親に、こういうときはこういうふうに叱りますからと伝えておくといいかと思っています。親ばかりではなくて子どもにも、「おまえたちはいいほうに伸びるのだから伸びるために叱るよ」と伝えておくのです。それをできるだけ細かく納得させる。縛るのはあんまり細かくしなくても、その前段を細かくしておくとう�효的だと思います。

それと、12ページの上のことは私たちがしてきたことです。子どもが言うことを聞かないとこういうことをしていました。しかし、今度の3月に50年前の教え子たちが同窓会をしてくれませんが、「先生、ようたたきよったなあ」と言われました。「恨んどろう」と言うと、「恨んどらせんばい」「俺たちも悪さしちよったもんね」というような話をしました。それは、やはりある程度お互いに納得していたのです。

全国の教育長会の会長をしていたある教育長がいますが、その人の教え子の話を聞くと、その当時、「あの先生は竹を持ってよくやっていたよ」と。しかし、「たたくとき加減をしていた」と。机は割れるくらいたたいていたけれど、頭に持っていくときは“ぱつと”とめて加減をしていて、それが子どもときの思い出になっていると。前段にその教育長はこういうときはこうすると注意していたのです。

県は細かく示さないといけなくて、そうしないとおかしくなります。これはこれとして、これに書いていないようなことを教育長から指導してもらおうといいでしょう。前段にざっと説明し、そして、何か質問はありませんか、これでだめなら今、言ってくださいとするといいでしょう。そして、そういうのはちゃんと発言の記録をとっておいたほうがいいです。そういうやり方をひとつ考える必要があると思います。

それから、体力の件は、いろいろ伸ばし方がありますが、体育の生活化というか、授業だけが体育ではなくて、生活の中に体育を入れ込むのです。例えば、名前を書く必要はありませんが、どれが自分のかわかるように模造紙に目標を一覧形式にして掲げておく。体力の現状がどうなっているか一人一人が友達と比較できるように模造紙にABCとざっと書いて、それをどれだけ伸ばすように努力するか、そういう努力目標なんかも友達と比較できるように掲示し、それに対してどういうことをやればいいのかと考えさせるのです。昼休みに遊ぶときは、運動場に出る前に自分は必ず鉄棒のあるところで斜め懸垂を10回やるとか、そういうようなことを日常生活の中に織り込んだ体育だと、自主的に取り組みます。

○教育長：全然違うでしょう。

○近本教育委員：握力を強くするために竹の棒におもりをぶら下げておいて、きりきり巻く。そうすると握力が強くなります。

○教育長：金がかからないです。

○近本教育委員：これだけ。これを1本つくっておけばいい。そういう体育の生活化という視点でカリキュラムにはないようなことに取り組むのもおもしろいという意見です。私は実際、それをやってきました。高学年になれば懸垂なんかも10回ぐらいは当たり前なのです。

○教育長：生徒指導、そして今の体育の向上につきましても、これから子どもたちが成長していく中で大事な指導の一つですので、今言われたことを参考にして、これからの指導に生かしていきたいと思います。ありがとうございました。では、この件についてよろしいでしょうか。

○（特になし）

○教育長：ありがとうございました。それでは、この件については終了いたします。

### 日程第3、報告第1号、平成31年度学校給食費についての件

○学校給食課長：（提案説明）

○西村教育委員：食料費というのはこれからどんどん上がっていくと思います。給食費の値上げというのが当然必要となってくると思いますが、1食の給食費に対して牛乳代というのがかなりの割合を占めていると思います。

少し調べてみたことがあります。全国の中では給食における牛乳を廃止した地域もあるみたいですが、今の給食費に対する牛乳代を見ると、そういうことがそのうち起こってくるのかなと考えたり、カルシウムなどの栄養面で必要となっていますが、メニューの中でそれが工夫できるものなのかなど、いろいろ調査していただきたいと思います。牛乳アレルギーの子がふえていたり、学校に給食訪問に行くと、お汁物があるのに牛乳があるととても食べづらいと言われるお子さんもおられます。価格から見て少しメニューの改善が必要になってくる場所もあると思いました。

○田代教育委員：この基本物資価格の価格というのは、今、私たちが給食をいただくときに二百九十何円とか出しているもののうち、例えば牛乳46.22円ということですか。

○学校給食課長：そうです。

○田代教育委員：結構大きいです。

○学校給食課長：牛乳は大きいです。

○西村教育委員：1人1食の分の5分の1、6分の1ぐらいの金額になるのではないかと思います。

○学校給食課長：小学校の1食単価が249円です。それで牛乳は50円弱ぐらい、御飯にしても60円近くです。それを除いたところで調理場のほうで工夫をしながら調理をしているという現状です。

○潮見教育委員：でも、牛乳は子どもにとっては大事な栄養源ではあります。

○教育長：夏なんか、好きな子は何本でも飲みます。ある意味あれが体力をつくっているのでしょう。

○西村教育委員：今、乳製品アレルギーの子ってどのぐらいの割合があるかはわからないですか。

○学校給食課長：わかりません。

○西村教育委員：だんだん増えてはいます。

○学校給食課長：はい。今、アレルギーに関してはまず調理場でつくる主要なおかずに関しては、例えばシチューをつくる時には乳、卵を使わずに豆乳を使ってつくったりして、どちらかという栄養面も考えながらより多くの子どもが食べられるメニューづくりを心がけております。

○西村教育委員：乳製品アレルギーがあり牛乳が飲めない子というのは、給食費が異なるのでしょうか。一律ですか。

○学校給食課長：牛乳代については単価がきちんと出ますので、学校のほうでその分返金されていると思います。

○教育長：それでは、質疑を打ち切ります。本件を承認することに御異議ありませんか。

○（特になし）

○教育長：異議なしと認め、本件については原案のとおり承認をされました。

#### 日程第4、報告第2号、平成31年度学校給食実施回数についての件

○学校給食課長：（提案説明）

○教育長：この件について何かご質問ございますか。

○（特になし）

○教育長：それでは、質疑を打ち切ります。本件を承認することに御異議ありませんか。

○（特になし）

○教育長：異議なしと認め、本件については原案のとおり承認をされました。

#### 日程第5、議案第3号、平成30年度筑紫野市一般会計補正予算（第5号）教育費についての件

○教育政策課長：（提案説明）

○教育長：この件について何かご質問ございますか。

○（特になし）

○教育長：それでは、質疑を打ち切ります。本件を承認することに御異議ありませんか。

○（特になし）

○教育長：異議なしと認め、本件については原案のとおり承認をされました。

#### 日程第6、議案第4号、平成31年度筑紫野市一般会計暫定予算教育費についての件

○教育政策課長：（提案説明）

○教育長：本件について質疑はございませんか。

○田代教育委員：先ほど液晶テレビの件を言われましたけれども、まだブラウン管テレビが残っている学校はたくさんありますか。

○教育政策課長：まだ残っている学校のほうが多いです。中学校は全部液晶にかわっておりますが、小学校で現在、全てが液晶テレビになっているのが阿志岐小学校で、二日市小学校と二日市東小学校については、新しい校舎には液晶テレビがございますが、古い校舎はまだブラウン管です。それから、原田小学校も、一部ではありますが、プレハブ教室に設置されているのと、増築された教室につけています。小学校についてはかなりおくらせています。

○田代教育委員：ということは、まだあと数年はかかりそうということですか。

○教育政策課長：はい。平成31年度は一応2校を予定していますが、これも予算が伴いますので、できるだけ早くしたいと考えております。国のほうもICT教育とかを進めている関係もありますので、教育委員会としてはできるだけ頑張って予算を確保していきたいと思っています。

○田代教育委員：よろしくお願いします。

○教育長：それでは、この質疑を打ち切ってよろしいでしょうか。

○（特になし）

○教育長：それでは、質疑を打ち切ります。本件を承認することに御異議ありませんか。

○（特になし）

○教育長：異議なしと認め、本件については原案のとおり承認をされました。

## 議案第5号、平成31年度筑紫野市奨学資金貸与事業特別会計予算についての件

○学校教育課長：（提案説明）

○教育長：本件について質疑等はございませんか。

○（特になし）

○教育長：それでは、質疑を打ち切ります。本件を承認することに御異議ありませんか。

○（特になし）

○教育長：異議なしと認め、本件については原案のとおり承認をされました。

以上で本日の議題は終了いたしました。 続きまして、各課等の報告に移ります。

### ○教育部長の報告

- ・藤田市長3期目就任式での訓示について

### ○教育政策課長の報告

- ・人権同和問題講演会の報告について

### ○学校教育課長の報告

- ・4月1日の赴任式について
- ・山家幼稚園の教諭を募集について

○西村教育委員：山家幼稚園の教諭は、臨時職員枠としての募集ですか。

○学校教育課長：嘱託職員です。

○西村教育委員：嘱託職員は職員扱いにはならないですか。正職という形の募集はできないのでしょうか。

○学校教育課長：現段階では、正規職員の育休代替の方ということになりますので、1年間の期間限定でお願いしたいと思っております。

○西村教育委員：幼稚園教諭とか、市とか公共の幼稚園で働きたいという卒業したての子というのはたくさんいらっしゃるけど、臨職とかの期間限定になると、若い人はなかなかされないでしょう。できるだけ正規職員として採用ができればいいかと思います。

○近本教育委員：本当に問題はお金だと思います。筑紫野市が安かったら来ません。ですから教育委員会で、他市などと比較してやはりよそが高いからそっちに流れているなどの調査が必要だと思います。現にそうなっていますから。

○教育長：大体よその市はどれぐらいかを大体把握してあるはずですが。

○近本教育委員：当然把握しておかないといけません。近隣都市は、嘱託でいくら、勤務時間から全部把握して比較できるようにして、その資料をもってこうですと言っていかないといけません。これではなかなか集まらないでしょう。



それと、市長の話の中で、この庁舎は誇れる庁舎と思っています。誇れる庁舎であるけれども、学校の箱物を見たときに、これは金の問題があるけれども、やはりまだ足らんとところがあります。例えば筑山中の体育館のカーテンというのは、あれは子どもが破ったものではありません。元気者がいっぱいいましたが、あれは違います。あのカーテンが一番古くて、三十何年になります。それで幕が破れています。ほかのところは、ガラスなどは元気な子どもが破っているけれど、あれだけは自然に破れているのです。あそこは中体連のときに近隣市町から剣道とかバスケットなどが集まってくるでしょう。みんなが見るでしょう。そうしたときに、庁舎はいいが学校はこうだと思われま。庁舎に魂を入れるというのは、これと箱物とを考えながら魂を入れていかなきゃいけません。予算関係でもこういうのは計上してもらい、計上したという事実を教育委員会はキチンと持っておかないとアンバランスです。

市長もよく、子どもの知徳体のバランスのとれた教育ということを言われます。それなら、庁舎を中心にしたバランスのとれた筑紫野市の建物を考えていかないと、アンバランスになったらどこかで水が漏れるようになります。それではいけません。市長には今まで一生懸命いろいろしてもらっているから、それを底上げするのが教育委員会の使命です。どこからメスを入れるのか、どこに入れるのかということは各教育委員の仕事でもありますが、教育部署の各課にもその辺を追求してもらいながら進めていくことがこれから大事ではないかという意見です。

○教育長：貴重な御意見をありがとうございます。 バランスのとれた建物の整備という意味では、今、言われたように、そこで働く職員のベースのことも含めて宿題です。

○学校教育課長：調査をして人事課のほうに提案していきたいと思います。

## ○学校給食課長の報告

- ・ 3月分の献立について
- ・ 5月の連休明けの献立について

○田代教育委員：実は先月「どういう給食がいいか」という話を伺って、その後、考えておりました。少し給食から離れるのですが、そもそも今のカレンダーでは祭日になっていない日がなぜ新たに祝日になるのか、平成という年号が変わるということはどういうことなのか、当然聞いてくる子もいると思います。

○教育長：関心を持っている子は多いと思います。

○田代教育委員：そういうときに、どういうふうに先生方が説明されるのか。先生方の中には考え方に幾らか幅があると思いますが、この先生はこう言ったよ、この先生はこう言いよったよという話ではいけないだろうと思います。給食で何を食べさせるかということよりも、そういうことのほうが大事なのではないかと思ったりしました。

○教育長：ちょうど年号が変わるときに私たちは立ち会うことになるわけです。

○田代教育委員：それにどういう意義があるのかというようなことです。

○西村教育委員：今、元号制なのは日本ぐらいです。

○教育長：元号制度は、大事に残したいと言っています。わかりました。貴重な御意見です。ありがとうございます。

○近本教育委員：それは教師の考えは強く言うのはなかなか難しいかもしれませんが、先生はこういうふうに思っているよ、このことはまた今からそれぞれがいろいろ勉強していくことになるだろうから、そこで結論を出すようになるだろうという導き方が一つあると思います。今までは元号反対の人も多かったでしょう。絶対元号は使わない、西暦でいくということでしたが、だんだん今、元号を使うようになって、元号と西暦とを並列して使うようになっていて、どっちが悪い、どっちがいいというような結論的なことを教師は言わないほうがいいと思います。そういう提起をしていかなければいけないと私は思います。

○教育長：指導主事がおりますので、そのあたりはたたき台をつくってもらいながら取り組みます。

○西村教育委員：給食のほうに戻りまして、行事食のひな祭り献立ですが、本来なら女の子のお節句という日本古来の行事ですが、ここに書いてあるように「女の子の幸せと健康を祈る行事」、もともとですが、今の流れから女の子と固定しまうのがどうなのかと、これをいただいたときに思いました。今の御時世的には「子どもの健康を」という表現のほうが向いているのかなと思いました。意見です。

○西村教育委員：もともとは女の子のお節句と言われていましたが、受けとりかたがいろいろある世の中になってきたということです。

○田代教育委員：しかし、せっかく桃の節句と端午の節句と二つあります。今は二つだけではないという言い方になってきていますが。

○西村教育委員：4月4日とか言い始めています。

○近本教育委員：田代委員がこの前言ったように子どもの主体性です。いろいろな知識に基づいて、自分で主体的に判断していかないとはいけません。片一方だけ出して「これ」って言ったって主体的には判断できないから、いろいろなことを出して、二つ並べてこういう流れがあったということから自分で判断する。判断するためにはまだ知らなければいけないことがいっぱいあるので、余裕を持たせて子どもたちが考えられるような助言をしなくてははいけないと思います。

きのうの水曜日はピンクシャツの日でした。同性愛者へのいじめをきっかけに始まった運動です。

○潮見教育委員：そういう意味ですか。

○近本教育委員：ある国で男性がピンクシャツを着ていった。みんなからいじめに遭っていました。その友達がそういういじめをなくすために、「それなら俺もピンクを着ていこう」といって始めたら、ピンクを着る人が広がって、それでいじめがストップしたと話です。それを世界に広げていこうという運動が起こっていて、ものすごい広がりようです。きのうの新聞に載っていて、それでピンクシャツの日を初めて知りました。

課題がたくさんあると思います。議員も筑紫野市の開庁式の来賓も女性は何人かで、200人ほどが男性でしょう。女性は何人来ているのだろうかと思ったら、めったにいません。そういう意味でも、地域の中にもまだ男性優位なところがあると思います。

それについていろいろな考えを出しながら、主体的にどう判断するか。今の子どもの判断が、20年、30年先は同じかどうかかわからないけど、いろいろ取り組んでみてください。

○教育長：わかりました。今、近本委員にまとめていただいたので、それを尊重しながら、この表示等の件につきましても、少し検討もしていただくような余裕があればありがたいと思います。

## ○生涯学習課長の報告

- ・成人式の記念アルバムについて
- ・西日本新聞の夕刊の記事（ちくしの高年大学事業）について

○西村教育委員：今年の成人式の内容を見ると、潮見委員が言われた「ケープをして座席に座るのはコートを着て室内に入るのと一緒」という一言から始まりましたが、この式典のときの写真を見ると皆さんきれいにケープを外されて、とても礼節にかなった式典のように見受けられました。

○潮見教育委員：よかったですね。

○教育長：よかったですね。しっかり定着しています。

○西村教育委員：今回、とてもよかったです。

○教育長：潮見委員のおかげです。ほんとありがとうございます。

○西村教育委員：非常にすてきです。

○潮見教育委員：整然としていました。でも、この記念アルバムはおもしろいです。ほんと若者の発想だと思います。すてきです。

○西村教育委員：今までにないアイデアです。今までの記念品にはタンブラーとか印鑑ケースとかありました。

○潮見教育委員：成人式を迎えるフェンシングの方が市の広報に出ていました。

○西村教育委員：こうやってボランティアの方の写真とかも載っているからとてもいいです。

○潮見教育委員：すばらしいと思います。

○西村教育委員：なかなか自分で写真を撮ってまとめるということはないから、定着していいかもしれないです。

○生涯学習課長：去年の実行委員の方も今回のアルバム作成に協力していただきました。それがずっとつながっていけばいいなと考えています。

○近本教育委員：みんな踏襲して頑張ってくれています。

○潮見教育委員：当日のボランティアの中学生とか、高校生とかもいいです。

#### ○文化・スポーツ振興課長の報告

- ・第63回筑紫野市駅伝大会の結果について
- ・34回のちくしの芸術祭について

#### ○文化財課長の報告

- ・「昔のくらし展」について

○教育長：それでは続きまして、その他に移りたいと思います。

教育委員の皆様、部課長さんから何かありましたらお願いします。

○（特になし）

○教育長：なしということにいたします。

それでは、これをもちまして平成31年第4回筑紫野市教育委員会定例会を閉会いたします。